

ハコ検討(案)-機能構成

機能検討時のポイント

- ・ハコに求められる機能については下記項目が必要であると考え、その組み合わせには様々なバリエーションが存在
- ・どの程度の機能が必要か、その他必要な機能は無いのか等、引き続き検討の必要あり

カテゴリ	項目	備考	フル スペック	ミドル 1	ミドル 2	ミニマム
交流機能	コワーキングスペース	“知の集積”を実現する、人同士の協業の場	✓	✓	✓	✓
	共同実験スペース	実験機材の共同利用や、異なる団体が共同で実験を行う、シェアスペース	✓	✓	✓	✓
	宿泊・滞在スペース	施設利用者向けの宿泊・滞在スペース。各種センサ等でデータ収集も可	✓	✓		
個別 オフィス 機能	サーバー	公的データ集積システム本体(クラウド型で実体が拠点に無い構成も可)	✓	✓	✓	✓
	サテライトオフィス	特定の団体が独占利用するオフィススペース(個別実験スペースと兼用可)	✓	✓	✓	
	個別実験スペース	特定の団体が独占利用するレンタル実験スペース(サテライトオフィスと兼用可)	✓	✓	✓	
一般開放 施設 (アメニティ 等)	カフェ・レストラン	完全手ぶら決裁型カフェ・レストラン。各種センサ等でデータ収集も可	✓	✓		
	無人スーパー	完全手ぶら決裁型無人スーパー。各種センサ等でデータ収集も可	✓			
	企業・製品PRブース	外来者とのビジネスチャンスを誘発する、人とモノとの接点を生み出すコミュニケーションエリア	✓	✓	✓	

※県の財政状況等も踏まえ、精査する必要あり

ハコ検討(案)-整備手法比較

整備手法検討時のポイント

- ・ハコの整備手法には、県・民間の関わり具合により、下記のような複数の選択肢が存在
- ・UX Projectにおいては、民間の自由な発想と、政策としての行政関与が両立し、相乗効果が発揮しやすい手法が適切と考える

	整備手法(1)	整備手法(2)	整備手法(3)	整備手法(4)
タイプ	県直営方式	リース方式	PFI-BOT方式	民間運営方式
整備イメージ				
運営主体	県	県	民間	民間
事業への影響度	行政強 ←	← 民間の自由な発想と、政策としての行政関与の相乗効果が発揮しやすい範囲 →		→ 民間強
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・[ヒト]民間の運営団体のリスクが最小であるため、最も民間運営者(指定管理等)が現れやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・[ヒト]県賃借が担保されていることから、民間所有者が現れやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・[カネ]初期投資時の行政負担の集中を回避できる ・[ヒト]民間の発想がより強く反映できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・[カネ](一般的に)最小の行政負担
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・[ヒト]民間の自由な発想が発揮されにくい ・[カネ]行政負担最大 ・[時間]通常の行政整備手続き分の期間が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・[カネ]賃借料=建設費+固定資産税等 	<ul style="list-style-type: none"> ・[時間]可能性調査等の義務が発生。完成まで時間がかかる。 ・[ヒト]プロジェクトの魅力次第では民間事業者が現れにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・[ヒト]実質民間主導事業となり、行政の政策的関与が弱くなる
備考			<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携の手法には、本方式の他に、PFI-BTO、コンセッション、DBO等多数の方式あり 	

凡例:

所有者: 県 民間